

【 動物総合センター 】

第1 動物愛護管理・狂犬病予防事業

1 化製場等の指導事業

化製場等の施設数及び監視指導状況

	化製場	死亡獣畜取扱場	死亡獣畜処理場外処理	法8条の準用施設	動物の飼養又は収容施設	動物処理場	計
施設数	-	-	-	-	35	21	56
監視指導件数	-	-	-	-	30	11	41

動物総合センターでは、動物愛護や公衆衛生上の観点から動物の飼養または収容施設、動物処理場の監視指導を実施している。

2 犬登録事務事業

「狂犬病予防法」により、犬の飼い主には、飼い犬に生涯一度の登録及び年一度の狂犬病予防注射の実施が義務付けられている。

4に実施の市民ホーム等を会場とした集合注射を実施し、また、市内及び近郊の動物病院に対し犬の登録事務及び狂犬病予防注射済票の交付事務を委託し、実施率の向上を図っている。

犬登録等状況

実施場所	登録総頭数	新規登録頭数	注射頭数
動物病院	-	1,083	17,244
その他	-	787	1,839
計	22,984	1,870	19,083

3 動物愛護管理事業

「狂犬病予防法」、「動物の愛護及び管理に関する法律」及び「岡崎市動物の愛護及び管理に関する条例」に基づき、放浪犬等の保護、動物の適正飼育管理指導、飼えなくなった犬・猫の引取り等を行うほか、犬・猫の新たな家族探し、第一種及び第二種動物取扱業の登録業務及び監視を行っている。

また、特定動物（ゾウ・ニホンザル等）の飼養・保管についても現地調査を実施するなど許可業務を行っている。

(1) 犬の保護等実施状況

放浪犬等の保護頭数		55
放浪犬等の返還頭数（返還率）		25(45.5%)
犬・猫の引取り頭数	犬	3
	猫	159
負傷動物保護頭数	犬	0
	猫	12
	その他	-
苦情・相談件数	犬	1,764
	猫	850
	その他（野生動物等）	460
犬による事故届件数	登録犬	22
	無登録犬	0
特定動物飼養許可	許可件数（施設数）	7(5)
	飼養許可頭数	105
	監視指導件数（施設数）	5(5)
第1種動物取扱業登録数	販売	74
	保管	102
	貸出し	9
	訓練	13
	展示	11
	競りあっせん	1
	譲受飼養	-
第2種動物取扱業届出数	譲渡し・保管・貸出し・訓練・展示	8
野生動物保護頭数	飼い主がないと想定できる場合	16
犬・猫の家族希望者への譲渡頭数（譲渡率）	犬	21(53.8%)
	猫	136(81.0%)
特定外来生物及び愛知県指定種対応件数		7

特定動物の動物種は延べ4種（アジアゾウ、ニホンザル、ミドリザル、ワニガメ）
特定外来生物及び愛知県指定種対応は環境保全課からの依頼等による。

(2) 猫の避妊処置事業

平成24年度から、飼い主のいない猫を減らすことを目的とし「猫の避妊処置モデル事業」として開始し、令和3年度より事業名を新たに本格事業化した。地域全体でそれら猫による被害がある場合、市と地域が協力して猫を捕獲し、メス猫は市が避妊手術を行い、オス猫は地域で去勢手術を行うことにより飼い主のいない猫の減少を図るために実施している。

実施地域数	避妊手術実施（メス猫）	去勢手術実施（オス猫）
2地域	8頭	6頭

4 動物愛護普及啓発事業

「動物の愛護及び管理に関する法律」及び「岡崎市動物の愛護及び管理に関する条例」に基づき、動物は命あるものであることを認識し、むやみに繁殖させないため避妊・去勢手術の実施、動物の習性を理解したうえでの終生飼養等について、パンフレット、チラシの作成配布等により普及啓発事業を行い、動物愛護意識の高揚を図っている。

講座・イベント名	講師	開催日	会場	参加者・組数
動物愛護講演会	みやぞん氏 石原 和幸氏	2月12日	りぶらホール	201名
動物愛護週間イベント 動物愛護パネル展示		9月17～23日 (19日除く)	動物総合センター	
夏休み自由研究	動物総合センター職員	7月23日、7月27日 8月19日、9月23日	動物総合センター	67名
ご長寿犬猫のお祝い記念行事		9月	動物総合センター	犬75名 猫2名
老犬スクール	石原 和幸氏	10月1日	動物総合センター	30名
学校飼育動物の飼い方教室	岡崎市獣医師会獣医師	10月11日、10月24日 1月24日	豊富小学校 梅園小学校 夏山小学校	
パピースクール	動物総合センター職員	4～7月、10～3月 全11回	動物総合センター	48組
Animoしつけ相談	HAP	4月～3月全12回	動物総合センター	78組
事前講習会	動物総合センター職員	4月～3月 全13回	動物総合センター	52組
なかよし教室	動物総合センター職員	全49回 4月～1月	動物総合センター	35園

5 災害時の動物に関する対策

東海地震等の大規模な災害発生時において、市民の危害を防止すると同時に動物の生命救済を図るため、放浪犬等動物の一時収容について岡崎市獣医師会と「災害時の動物収容活動及び救護活動に関する協定」を締結している。この協定に基づき、収容した被災動物のための飼料の保管を岡崎市獣医師会に委託（災害時緊急用飼料保管委託）している。令和5年度は17か所の動物病院にて飼料を保管した。

6 動物総合センターの施設利用状況

動物総合センターの多目的ホール及び研修室については、貸館として貸出しを行っている。

	利 用 人 数	利用団体数
多目的ホール	536人(28件)	3団体
研 修 室	360人(23件)	4団体